

# DENSO

## 社 会 貢 献 活 動

年次報告

2004

---

考え方と推進体制

障害者福祉

青少年育成

環境共生

社員ボランティア支援

グループ会社の活動

# 考え方と推進体制

デンソーは、よき企業市民として社会との共生を図り、地域・国際社会から信頼される企業を目指しています。  
本レポートでは、2004年度に行った社会貢献活動について詳しくご紹介しています。

## 取り組みの考え方(重点施策)

社会から共感を得られる活動を推進していくため、重点3分野におけるオリジナルプログラムの充実と社員のボランティア活動支援に力を注いでいます。

**基本理念** デンソー-基本理念に基づき、世界の人々の幸せに貢献することで、社会の共感を呼ぶ企業を実現する。

～重点3分野(障害者福祉・青少年育成・環境保全)の活動内容充実～

**障害者福祉** 「アジア車いす交流センター」の事業拡充

**青少年育成** モノづくりと創造性啓発プログラムの企画・推進

**環境共生** 環境教育プログラムの企画・推進

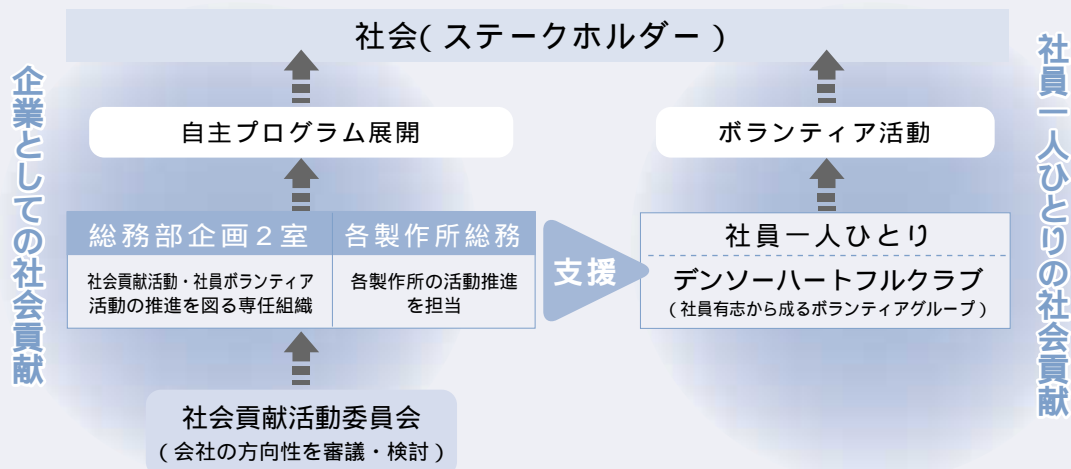
～社員の自主的な社会参加活動の浸透と定着～  
社員有志によるボランティアグループ「デンソーハートフルクラブ」の活性化  
(ボランティア活動への参加者の拡大)

～活動の情報開示と評価の充実～

情報開示:活動内容の積極的な情報開示による、地域社会とのコミュニケーションの充実  
活動評価:外部の客観的評価も含めた「評価システム」の確立

## 推進体制

社会貢献活動に関する会議体「社会貢献活動委員会」(事務局:総務部)を組織しています。  
社会貢献活動のあり方や活動推進について審議検討し、具体的な取り組みに結びつけていきます。





特定非営利活動法人(NPO法人)

## 「アジア車いす交流センター(WAFCA)」(Wheelchairs and Friendship Center of Asia)

1999年4月に設立。車いすの普及活動を通じてアジアの障害者が自立できる環境づくりを行うこと、スポーツ・教育分野における支援を通じてバリアフリー社会の実現に寄与することをめざしています。2004年度は、タイの障害者によって生産された車いすを、タイ及びアジアの障害者へ寄贈するなど、活動地域を広げると共に、車いす修理・メンテナンス活動などの充実を図りました。

WAFCAの活動はインターネットのホームページでも紹介しています。(アドレス: <http://www.wafca.jp>)

事業	実施日	内容
車いす生産支援と普及事業	通年	タイ障害者財団の車いす工場「Thai Wheel」の生産支援活動(デンソータイランド社員による技術・生産指導等)。 ・2004年生産台数:1657台(前年比128%) ・Thai Wheelで生産した車いすを買い上げ障害児への寄贈(タイ:142台、アフガニスタン100台、カンボジア29台、インドネシア13台など)
	11月、2月	タイのバヤオ県、ロップリー県にて、WAFCA等から寄贈した車いす56台の修理、メンテナンス活動の実施。
	通年	昨年度実施した「車いす製造・修理トレーニング」に参加したタイ、ラオス、マレーシア、ベトナム、アフガニスタンの車いす技術者へのフォローアップ調査およびワークショップ立上げ支援。
障害者スポーツ交流事業	5月	タイ チェンマイ市にて、タイのコーチ、選手28名を対象に、車いすバスケットボールの指導者養成ならびに技術研修の開催。
障害児教育支援事業	通年	タイ東北地方2県にて他団体と協働による障害児教育支援プログラムの実施。 ・車いすの寄贈支援(25台)、奨学金支援 ・学校のバリアフリー設備支援(4校) ・地域主体の障害児支援セミナー開催(各県1回)
広報・啓発事業	2月	タイでの活動視察及び車いす修理活動を目的としたタイフレンドシップツアーの開催(会員33名参加)。
	8月	学生会員による対象学校との交流、および学校環境改善活動実施(トイレ、スロープ建設)。

WAFCAの活動は、会員の皆さんの会費によって支えられています。一人でも多くの皆様のご協力をお願いします。加入状況:2005年3月末現在1080口

## 「デンソー太陽」

障害者に働く場を提供し、社会参加と自立を支援するため、1984年に社会福祉法人「太陽の家」と共同出資で愛知県蒲郡市に設立。工場内は全てバリアフリーで、車いすの高さに合わせて昇降する作業台など、設備・治工具なども障害にあわせて医学的、労働科学的な配慮がなされています。工場では、約210名の方が軽自動車用メーターの組付けや関連部品の加工に従事しており、障害者の自立の場として、そして高品質な製品を安定的に供給する優良会社として知られています。また、スポーツ・レジャーイベントなどには当社の社員もボランティアとして参加し、交流を深めています。

生産金額(2004年) 45億円 生産台数(2004年)コンピネーションメーター=928千台・フューエルセンサー=2175千台

イベント	実施日	内容
納涼大会	7月31日	愛知太陽の家敷地内で開催される「納涼大会」、20回目の2004年も多くの露店が並び、1000人を超える人で賑わいました。デンソー社員をはじめ地域からも多数の参加があり交流を深めました。
大分国際車いすマラソン選手出場	10月31日	今年で24回目の世界最大の国際車いすマラソン大会に、今年も5名の選手が出場しました。ハーフマラソン女子の部総合で6位に入りました。
トヨタグループ災害Vネット体験研修会参加	11月14日	東海地震・東南海地震に備え、トヨタグループ災害Vネット主催による「災害時におけるボランティア体験」に車椅子使用者6名を含む16名が参加し、地震発生時の避難体験研修を行いました。

## 「大分国際車いすマラソン大会」の支援

当社は1991年の第11回大会より協賛企業として大会運営をサポートしています。

第24回となる2004年も、大会への協賛をはじめ、従業員ボランティアが中心となり、以下の支援活動を行いました。

運営ボランティアの派遣

事業	実施日	内容
運営ボランティアの派遣	10月31日	23名の社員及び家族がボランティアとして参加し、スタート地点・コース沿道の観客整理、選手の介護、会場の後片付けなどを実施しました。
大会参加選手の練習サポート	9月19日 10月17日	社会福祉法人「太陽の家」愛知事業本部から大会に参加する7名の選手を支援するため、西尾製作所の工場敷地を開放し、練習の場として活用していただきました。延べ13名の社員ボランティアが選手のタイムキーパーなどの支援をしました。

## 地域の社会福祉施設の障害者の自立支援

事業	開催年月	内容
障害者施設「くるみ会」への業務委託	1999年 10月~	冷暖房製造2部がヒータコア製造時に発生するパッキンの裏紙の裁断とポリ袋への封入作業を「くるみ会」に業務委託し、その製品を梱包用のクッション材として再利用しています。
障害者授産施設「さくらワークス」の支援	2000年 12月~	愛知県豊田市にある身体障害者通所授産施設「さくらワークス」が製造するクッキーを会社の贈呈品として活用しています。
NPO法人「パンドラの会」の支援	2001年 3月~	愛知県刈谷市にあるNPO法人「パンドラの会」の障害者が製造するお菓子を、社内売店(刈谷生協)の協力を得て店頭販売したり、会社の贈呈品として活用しています。
知的障害者授産施設「すぎな作業所」の支援	2004年 3月~	愛知県刈谷市にある知的障害者通所施設「すぎな作業所」にて会社の贈呈用の文具を包装する作業を委託しています。



## ④「デンソー 夏休みモノづくりスクール 2004」

8月22日(日)、次世代を担う子供たちにモノづくりの楽しさを体験してもらおうと、安城市高棚町の高棚製作所で、「夏休みモノづくりスクール」を開催しました。親子や友達同士で訪れた小学生約1300人と、中高生約250人が、手作り工作などにチャレンジしました。参加した子供たちは、「モータで動くものを作ったのは初めて。ホバークラフトがうまく動いてうれしい」「ビーズや千代紙を使ってきれいな万華鏡ができたので、夏休みの工作にしたい」と、作品を手を輝かせていました。催しには、デンソー短大の指導員・生徒、デンソー養技会の社員など、約220名が講師を担当し、子供たちのサポートをしました。

	イベント	内容
小学生	電動プロペラカー工作	モータと木を使って電動のプロペラカーを作りました(90人×2回)
	ホバークラフト	発砲スチロール容器を使ってホバークラフトを作りました(42人×2回)
	金属加工「キーホルダー」	技能五輪選手の指導で、やすりをつかってキーホルダーを作りました(24人×2回)
	万華鏡づくり	ダンボールの筒を使って、万華鏡づくりをしました(48人×2回)
	木工	かなづちなどを使ってコリントゲームを作りました(48人×2回)
	樹脂アクセサリ	樹脂粘土をつかってネックレスやペンダントを作りました(48人×2回)
	電磁石ロボット	電磁石で動く、イヌ型ロボットを作りました(70人×2回)
	おもしろ科学実験ショー	サイエンスレンジャー海老崎先生による、科学マジック&実験ショー。楽しく科学の原理を学びました(250人×2回)
	技能五輪実演見学	旋盤、フライス、電子機器組立など技能五輪選手の技のすばらしさを来場された方に、見学してもらいました
中・高校生	タイルアート	タイルをしきつめてミニテーブルを作りました(65人×1回)
	オリジナルキーホルダーづくり	金属加工してキーホルダーや携帯ストラップを作りました(55人×1回)
	万華鏡づくり	金属加工した筒を使って万華鏡を作りました(20人×1回)
	オリジナルマウスパッド	パソコンでデザインを考え、マウスパッドを作りました(45人×1回)
	樹脂工作	樹脂粘土を使ってネックレスやヘアピンを作りました(20人×1回)
	ビーズアニマル	ビーズを使って、動物のアクセサリを作りました(20人×1回)
	電子時計工作	電子部品を半田づけしてデジタル時計を作りました(40人×1回)
	技能五輪実演見学	旋盤、フライス、電子機器組立など技能五輪選手の技のすばらしさを来場された方に、見学してもらいました

## ⑤「少年少女発明クラブ」支援

デンソーの社員が講師や工作指導ボランティアとなり、地域の少年少女発明クラブの活動を支援しています。発明クラブの小学生を対象に、科学への興味を引き出し、自分の手でモノづくりをする楽しさを知ってもらうために、多くのデンソー社員がボランティアとして創造学習のサポートをしました。

	内容
刈谷少年発明クラブ活動支援	刈谷少年発明クラブは、設立30周年。約900人のクラブ員は全国最大。クラブが夏休み期間中に開催している自由工作講座(約100人/日)の工作指導ボランティアとして、社員・OB約10名が参加。子供たちの図面・工作指導をしました
西尾少年少女発明クラブ活動支援	西尾市少年少女発明クラブ(約80名)の活動日(毎週土)に、社員・OB約4名がボランティアとして参加。子供たちの仕事を継続してサポートしています
いなべ市子ども発明クラブ活動支援	いなべ市子ども発明クラブ(約20名)の活動日(年10回)に、デンソー大安製作所の社員約10名が、交替で子供たちの仕事をサポートしました
安城少年少女発明クラブ活動支援	安城市少年少女発明クラブ(約65名)の活動日(土:年14回)に、社員・OB約9名がボランティアとして参加。子供たちの仕事をサポートしています

## ⑥「金属加工モノづくり体験」

7月31日(土)、8月1日(日)の2日間、子供たちが普段体験できない金属加工を体験してもらおうと、大安製作所にて、小中学生約200名を対象に「金属加工モノづくり」を行いました。当日は、デンソー養技会の社員など、約85名が講師を担当し、子供たちのサポートをしました。

実施項目	内容
金属加工モノづくり	弓のこややすりをつかって金属加工体験「オリジナルプレート」や「ブックエンド」や「写真立て」を親子で作成
ロボットのデモンストレーション	多関節ロボットのデモンストレーションを見学

## ⑦「ロボカップジュニアみかわ大会」

地域の小中学生(22名)を対象に、科学技術とモノづくりに対する興味を深めもらうため、自律型ロボットによるサッカー競技「ロボカップジュニア」を安城市にあるデンソー技研センターで開催しました。9月に、名古屋科学館講師のご指導のもと、センサーでボールを感知しておいかけるサッカーロボットの組立・プログラミングを行い、10月16日(土)には、2人1チームでサッカー大会を開催しました。本人はもちろんご家族も応援に力が入り、ロボットがボールに反応し、うまくゴールするたびに大きな歓声があがっていました。

	実施日	内容
第1日目	9月25日(土)	ロボットの組立て センサーでボールを感知しておいかけるロボットを組立て
第2日目	9月26日(日)	コンピュータによるプログラミング ボールを感知し、ゴールまで運ぶプログラムづくり
第3日目	10月16日(土)	<ロボカップジュニア みかわ大会> 自律型ロボットによるサッカー競技 社内のアイデアコンテスト「デンソー夢創(ムーン)2004」と同時開催

この大会での優勝・準優勝チームは、3月に名古屋科学館で開催された東海大会へ出場しました。

## ⑧04年度「ファミリーオープンハウスデー」

日頃、お父さんお母さんの仕事内容を知らない子どもたちに対し、職場を見てもらうことによって、理解を深めてもらうというイベントです。デンソーの全製作所で毎年開催しています。(938家族・3151名参加)

製作所	実施日	内容	参加者
阿久比	7月22・23日	職場見学、 防災センター見学	41家族 120名参加
本社・池田	8月2・3・ 5・6日	職場見学、 ギャラリー見学	338家族 1,104名参加
高棚	8月17・24、 9月20日	職場見学、 環境コース見学	59家族 212名参加
大安	8月18・19・ 25・27日	職場見学、ヘリコプター、 消防自動車、防災啓発車体験	165家族 517名参加
安城	8月19・ 23・30日	職場見学、電子工作、 モーターカー、万華鏡工作	17家族 42名参加
豊橋	8月19・ 24・26日	職場見学、クルージング、 ロボットコーナー開放	36家族 133名参加
幸田	8月26・27・ 9月23・11月23日	職場見学、電子工作、 トヨタ博物館、ギャラリー見学	111家族 378名参加
西尾・善明	9月20・23日	職場見学、発電機、 ブザー、懐中電灯工作	146家族 544名参加
基礎研	11月3日	職場見学、キーホルダー作成、 ギャラリー見学	25家族 101名参加



## ④デンソー環境教育プログラム「ECOLEンジャー21」

次世代を担う子ども達を対象にした体験型環境教育プログラム。「緑・水・大気」をテーマに、身近な自然を題材にして、楽しく環境保全の大切さを理解してもらおうという考え方で開催しています。2001年度に刈谷コースをスタートさせ、現在では刈谷・阿久比コース、西尾・幸田コース、安城コースに拡大しました。多彩な講師を招いて開催、2004年度はのべ79名の社員ボランティアが参加し子ども達をサポートしました。

【刈谷・阿久比コース】参加者：愛知県刈谷市ならびに知多郡阿久比町在住の小学校4年生から6年生 45名(公募)。

後援：刈谷市、刈谷市教育委員会、阿久比町、阿久比町教育委員会 刈谷市の富士松北小学校に隣接する「北っ子の森」を中心に自然を体感しながら学びました。(5講座1コース)

回	講座名	実施日	内容・会場
1	森からはじまる水の旅	4月24日	身近な森で水探し。土を掘って触ったり、火で炒めたりして観察し、森の土が水を蓄えることを確認しました。北っ子の森(刈谷市 富士松北小学校隣接)
2	ソーラーカーを作る	6月5日	私たちの便利なくらが地球環境に負荷を与えていることを知り、環境にやさしい乗り物を考えました。ソーラーパネルを使ったソーラーカーづくりを通して太陽の力を実感しました。刈谷少年発明クラブ(刈谷市)
3	街の生きもの調査隊	7月10日	身近な自然を観察し、「森の中」と「草むら」の生きものを探してマップにしました。見方がわかるとたくさんのおいしさを探ることができ、それぞれのいる場所にはわけがあることを学びました。箭 <sup>や</sup> 神社(阿久比町 エスペランス丸山周辺)
4	アシ原に行こう	9月11日	河口に生い茂るアシと格闘。自分の背より高いアシを取ってきて束ねたり切ったりして作品を作りました。水を浄化したり、生き物のすみかになったり、よけずや神事に使われたりとアシの働きや生活のかかわりを学びました。逢妻川河口(刈谷市 市原稲荷神社周辺)
5	森の展覧会(親子参加)	10月16日	第1回講座で活動した同じ森で、「環境にやさしいこと」をテーマに森の展覧会を開き1年間の活動を振り返ってみました。竹林の整備をしながら班毎に楽器を作ったり、家を作ったり、また、大人チームが作ってくれた竹ホットケーキをおいしくいただきました。北っ子の森(刈谷市 富士松北小学校隣接)

【西尾・幸田コース】参加者：愛知県西尾市と額田郡幸田町在住の小学校4年生から6年生 21名(公募)。

後援：西尾市、西尾市教育委員会、幸田町、幸田町教育委員会 「西尾いきものふれあいの里」を中心に自然を体感しながら学びました。(5講座1コース)

回	講座名	実施日	内容・会場
1	里山の暮らしを知る	5月29日	野や畑に生えているいろいろな葉っぱを採ってきて、お茶にして色、におい、味を楽しみました。自然のものを手間ひまかけて食材として利用することで、里山と人とのかかわりの一部を体験することができました。西尾いきものふれあいの里(西尾市)
2	ピオトープをすまかには	6月19日	工場の排水処理水を利用したデンソーのピオトープで、生き物探索。そしてここにすむ生き物が「食べ」たり「隠れ」たり「子を育て」たりするためにどんなすまかが良いか、生き物の気持ちになって考えて模型を作りました。デンソー善明製作所敷地内ピオトープ(西尾市)
3	自然エネルギーを作る	9月4日	自然エネルギーの「水力」をテーマに、工場の中で使われているマイクロ水力発電を見学し水の流れる力にふれた後、実際にペットボトルで水車を作って発電してみました。デンソー西尾製作所(西尾市)
4	竹林の不思議(親子参加)	10月2日	親子で、地元の竹林の手入れをして、切り出した竹を利用してはしごや糸電話を作りました。色々に使える竹の魅力を満喫しました。幸田町内竹林(幸田町)
5	昔のくふうを使ってみよう	11月13日	昔の人が行ったように手間をかけ、知恵を出して「茶話会(さわかい)」を開きました。かまど作り、火起こし、竹の食器作り、ごはん炊き、お茶作り、遊具作り。これまでに体験したこと、学んだことをフル活用して環境にやさしい素敵な振り返りパーティーを開催しました。西尾いきものふれあいの里(西尾市)

【安城コース】参加者：愛知県安城市在住の小学校4年生から6年生 26名(公募)。

後援：安城市、安城市教育委員会 協力：株式会社デンソーウェル 安城市から矢作川をさかのぼり長野県下伊那郡浪合村「デンソーリゾート治部坂こまき」を中心に自然を体感しながら学びました。(2泊3日)

講座名	実施日	内容・会場
川はどこから来るの？	7月22日～24日	日本のデンマークと呼ばれた安城市の産業や人々の生活を支えてきた矢作川(やばぎわ)の源流がある浪合村までさかのぼり、森と水の関係を確かめに学びました。途中で手入れされた森林が水や空気を育むことを林業家に教わり、間伐体験もしました。水源の森の朝、昼、夜を探検し、その森の手入れをしてガーデンパーティーを開きました。すばらしい自然を目、耳、肌、鼻、舌で感じ、森の役割を学んだ3日間でした。安城市・治部坂(長野県)

## ④刈谷市「小堤西池カキツバタ群落自然保護活動」「北っ子の森里山保全活動」

国の天然記念物としても指定されている刈谷市北部の「小堤西池カキツバタ群落」。「カキツバタを守る会」により保護活動が行われてきましたが、当社のボランティアも1996年から参加し、「守る会」の皆さんと一緒に作業をしています。また、富士松北小学校裏の里山では、子どもたちに自然についての体験学習をしてもらうよう、学校の先生と一緒に里山づくりをしています。

実施日	内容
4月24日	「小堤西池」丘陵地の整備(社員ボランティア8名参加。)
5月15日	ボランティアイベント「カキツバタふれあいウォークラリー」開催(129名の市民が参加。社員ボランティア42名参加。)
8月28日	「小堤西池」湿原内の草刈り(社員ボランティア9名参加。)
11月27日 2月20日 3月20日	「北っ子の森」里山整備(社員ボランティアのべ31名参加。)

## ④西尾市「平原ゲンジボタルの里保存活動」

当社西尾製作所は1995年から「平原ゲンジボタルの里」を守るボランティア活動に参加。翌1996年には保存会の会員登録をしました。保存会では、ゲンジボタル生息区の草刈りを行うなどの活動を通じ、地元の方と共に自然を守るお手伝いをしています。

実施日	内容
4月24日	「タケノコまつり」設営準備(鯉のぼり取り付けなど)(社員ボランティア21名参加)
6月5日～12日	「ホタルまつり」運営サポート(駐車場整理など)(社員ボランティア35名参加)
8月28日	「ゲンジボタルの里」草刈ボランティア(社員ボランティア6名参加)

## ④衣料回収活動

社員、市民の家庭で眠っている衣料を回収し、NPO法人日本救済衣料センター(大阪市)を通じてアジア・アフリカ・南米の恵まれない方に贈っています。衣料の回収、分別、箱づめには多くの社員ボランティアが参加しました。(1993年から、本社で始めた活動が、その後他の製作所にも広がって毎年春と秋の衣替えの時期に実施)

会場	実施日	内容
本社 大安製作所	6月12日 6月5日	ダンボール箱1,068箱の衣料品を回収 カンパ金1,212,000円とともに寄贈 (社員ボランティア143名参加、衣料提供者746名)
安城製作所 本社 阿久比製作所 幸田製作所 広島工場	9月25日 10月23日 10月23日 10月17日 3月1日	ダンボール箱640箱の衣料品を回収 カンパ金1,125,000円とともに寄贈 (社員ボランティア182名参加、衣料提供者741名)

# 社員ボランティア支援



## ④ マッチングギフト

役員・社員が、個人またはグループで社外の公益団体に寄付した時、寄付先が会社の支援対象と認められた場合、会社から同額を上乗せ(マッチング)して寄付する制度です。

2004年度(2004年4月～2005年3月)は、158件が活用され、34団体への寄付を行いました。

予期しない大きな自然災害(福井水害・新潟地震・スマトラ島沖地震)が発生したため臨時マッチングギフトにて87件が活用され、18団体への義援金寄付を行いました。

## ④ マッチングファンド

役員・社員が、個人またはグループでの寄付金をファンド金(基金)としてプールし、集まった寄付金、会社から同額を上乗せ(マッチング)して地域の公益団体に寄付する制度です。

2004年度(2004年4月～2005年3月)は、69件803千円の提供がありました。マッチングしたファンド金は、8団体に寄付をしました。

## ④ ボランティア休暇・休職制度(青年海外協力隊参加支援制度)

青年海外協力隊への参加期間の約2年間の休職を認める制度です。

本制度を利用して青年海外協力隊に参加しているのは1名です。(2004年2月時点)

赴任先	内容
カンボジア	環境教育の教師(小学生対象)

## ④ デンソーハートフルクラブの活動

「デンソーハートフルクラブ」は、社員のボランティアグループとして1998年に発足しました。世話人を中心とした有志社員による自主運営組織で、製作所毎に組織化されています。自主企画活動の推進、地域のボランティア活動への参加、使用済み切手収集等の草の根活動など、各地域毎に工夫を凝らした活動を行っています。会社のボランティア支援センター(94年設立)が活動をサポートしています。

会員数 : 約1,200名(2004年1月時点) デンソーハートフルクラブ独自の企画・主催による活動

### 【主な活動】

クラブ	実施日	内容
クラブ刈谷	5月8日 12月25日	老人保健施設「相生」の車いすの点検を実施(2回/年実施 25名/回参加)
クラブ安城	10月10日 10月31日	安城市福祉まつりでの「車いす体験コーナー」担当(10名参加) 安城市地域チャリティバザー企画・開催(10名参加)
クラブ西尾	通年	ふれあいみかん園の整備(7回/年実施 約50名/回参加)
クラブ高棚	通年	老人ホーム慰問活動(15回/年実施 約8名/回参加) つくしんぼ(心身障害児童)一日保育活動(10回/年実施 約5名/回参加)
クラブ大安	通年	大安町スポーツ公園周辺清掃活動(4回/年実施 50名/回参加) 大安町梅林公園手入れ(12名参加)
クラブ幸田	4月・7月 6月24日 11月13日	しだれ桜の手入れ(約11名/回参加) ボランティア交流会(35名参加) カブミラー清掃(8名参加)
クラブ豊橋	5月30日	豊橋善意銀行「善意フェスティバル」ゲームコーナー担当(9名参加)
クラブ阿久比	6月19日・8月21日 11月・3月	心身障害者小規模授産施設「もちの木園」の草刈りボランティア活動(2回/年実施 10名/回参加) 老人保険施設での車いすの点検を実施(2回/年 15名/回参加)
クラブ基礎研	11月15日	カーブミラー清掃(12名参加)
クラブ北九州	7月18日 8月22日	児童養護施設「聖小崎ホーム」草刈(9名参加) 夏井ヶ浜海岸清掃(14名参加) 「ふれあいフェスティバル」チャリティバザー実施(7名参加)
クラブ弥栄寿会 (OBのグループ)	通年	老人保健施設の慰問活動(歌・踊り・マジック)11回/年実施 約7名/回参加) 刈谷市内立保育園を巡回しておもちゃ修理(10回/年実施 約6名/回参加) 刈谷市祭「万燈祭り」の中万燈製作(2ヶ月間 3回/週実施 約8名/回参加)

地域で行われるボランティア活動への参加 各種ボランティア活動への参加者数 : ボランティア参加人員 04年度 約3,095名

### 【主な参加イベント】

地域の清掃活動(河川、周辺道路、地下道など)	図書館ボランティア(本の貸し出し、整理整頓の補助)
地域の福祉まつりでのお手伝い(模擬店のお手伝い、交通整理など)	電友会スポーツ部による地域のスポーツ講習会補助
福祉施設での手伝い(夏祭りのお手伝い、外出の時の付き添いなど)	電友会カラオケ部、日舞部、音楽部、民謡部などによる老人ホームの慰問
地域のスポーツイベントでの運営補助(マラソン大会、トライアスロン大会など)	トヨタグループ災害ボランティアネットワークによる、体験研修会参加(炊き出し・救急看護など)

## ④ ボランティア情報サイト(スマイルゆうネット)での情報提供

【<http://genki365.net/gnkt/customer/toyotagr/index.php>】

「スマイルゆうネット」は、トヨタグループ4社(豊田自動織機・豊田工業・アイシン・デンソー)が共同で2004年1月に立ち上げたインターネットサイトです。刈谷市の刈谷市民活動ボランティアサイトと連携をして、地域の情報も取り入れ、従業員や家族が家からでも参加しやすくしています。

## ④ 愛・地球博ボランティア活動への支援

05年3月～9月に開催される、愛・地球博でのボランティア活動へ団体登録を行い、募集から登録手続き、登録者への事前研修会・現地見学会やシフトの設定まで、愛・地球博ボランティアセンターと連携をし、実施しました。ボランティア参加希望者 約420名

## ④ ボランティア活動表彰制度

地域社会に貢献した従業員を表彰することにより活動継続への励みとするともに、ボランティア活動についての社員の意識向上を図るために、04年度に創設し、3個人と2グループが、社長表彰されました。



## 🌐 デンソー - グループハートフルデー

世界各地のデンソーグループ会社が、任意の日を「ハートフルデー」と設定し、社員の自主的な社会貢献活動により豊かな地域社会づくりに貢献していくものです。'04年12月会社創立55周年を契機に創設し、世界20か国のグループ会社が、地域社会貢献活動を推進しています。

【[http://www.denso.co.jp/SOCIAL/heartful\\_day/](http://www.denso.co.jp/SOCIAL/heartful_day/)】

## 【日本での主な活動事例】



主な活動	開催年月	内容
株式会社デンソー - デンソーハートフル - チラン	12月5日	「デンソー - グループハートフルデー」のオープニングイベントとして、知的発達障害のある方のオリンピック「スペシャルオリンピック」冬季世界大会・長野(2005年2月開催)に向けた聖火リレー「デンソー - ハートフル - チラン」を開催しました。ゲストのアテネ五輪女子レスリング金メダリスト、吉田沙保里選手をはじめ、当社製作所周辺地域の福祉施設の入所者や市民、社員ら、約200人が参加。刈谷駅を出発して本社までの約1.5kmを走り、吉田選手とチランナーと一緒にトーチの火を聖火台に点灯しました。参加者からの善意のお金は、スペシャルオリンピック日本にお届け、大会運営に役立てていただきました。
デンソーハートフル チャリティコンサート	12月5日	デンソー - ハートフルデー創設のオープニングイベントの一つとして、チャリティコンサートを実施しました。ハートフル - チランに参加した福祉施設の皆さんを招待し、社員、地域の方々のチャリティ参加のもと、名古屋フィルハーモニー交響楽団によるフルート四重奏の柔らかな音色で午後のひとときを楽しみました。チャリティで集まったお金は、スペシャルオリンピック冬季世界大会・長野の運営資金として全額寄付しました。
アスモ株式会社 アイデアフェスティバル 「モータを使った作品づくり」	5月15～16日	次世代を担う子供たちにモノづくりの楽しさを体験してもらおうと、湖西市の本社工場で2年に1回「アイデアフェスティバル」を開催しています。小学校の作品展作品では、地元小学生と合同でアスモのモータを使用した作品を作り出展しました。また、開催当日の各モノづくりコーナーでは、友達同士で訪れた小学生等、約2,700名が、手作り工作にチャレンジしました。
地域清掃活動	6月26日	環境美化の一環として、アスモ社員とその家族が参加して、本社工場・豊橋工場周辺地域で、ごみ拾い活動「ゴミゼロ大会」を行いました。この活動は、毎年行っているもので、今年は221名が参加し総量240kgのゴミを収集しました。
交通事故遺児への チャリティ募金	12月	今年で13年目。年末年始の交通安全運動の一環として「コーヒー一杯分の善意の募金」を呼びかけるチャリティ募金を実施しました。社員4530人より温かい善意が集まり、地元の関係福祉機関へ寄付しました。
アンデン株式会社 地元小学校2年生対象の 本社工場見学プログラム	10月25日	地元小学校の学習プログラムに協力し、小学2年生と保護者総勢30名を対象にした工場見学プログラムを実施しました。小学生向けに作成したプレゼンテーションを行い、最新の製品組付け・梱包ライン、実車での取り付け状況展示、環境リサイクルセンターでの分別リサイクルを見学案内し、身近な工場である当社の取り組みを理解してもらいました。
浜名湖電装株式会社 海外支援衣料回収活動	10月21～23日	衣料不足に悩む世界中の人々への支援のため、家庭で眠っているタオル、毛布、スボンやシャツなど総重量で195kgの衣料を有志社員から寄付いただき、NPO法人日本救援衣料センターを通じて、発展途上国に贈りました。
大信精機株式会社 会社周辺地域の清掃活動	9月11日	従業員全員の活動として、年2度会社周辺半径2km圏内の地域の清掃活動を行っています。
GAC株式会社 新潟中越地震義援金活動	10月27日～11月10日	従業員有志からの義援金を募り、会社としてマッチングギフトにより合計50万円を拠出しました。会社出勤時、工場の門の前で募金箱をかかえて社員に募金の呼びかけを行なったところ、反響が大きく多くの方が募金に協力してくれました。また、義援物資として非常食(乾パン)200個、ペットボトルの水200本を拠出しました。
社会復帰更正施設 「有明高原寮」との交流	10月19日	社会復帰を目指す生徒(中学生)たちとソフトボールを一緒にしたり、懇親会で様々な話をして交流しました。
工場見学プログラム	10月26・27・29日	児童の社会教育支援の一環として「工業生産が私たちの生活にどんな役割をしているか?資源の有効活用、環境問題にどう取り組んでいるか」等を実際に見て知ってもらうため、工場見学の受け入れを行なっています。04年度は、計115名が見学に訪れました。
地域清掃活動プログラム	5月28日・11月05日 3月11日	地域の美化活動に合わせて、工場周辺の清掃を毎年実施しています。工場始業前または終業後に、道路脇、側溝のゴミ、空き缶を拾う清掃活動を、年3回 計570名が参加して実施しました。
株式会社 朝日製作所 海外支援衣料回収活動	6月10～11日	家庭で眠っている衣料を回収し発展途上国に贈る「海外支援衣料回収活動」をデンソーボランティア支援センターと協働で実施しました。
三共ラヂエーター株式会社 工場周辺清掃活動	3月12日・6月18日 9月10日	年3回、工場周辺の路上等のゴミ拾い、草取り等の清掃活動を行っています。
株式会社 テクマ 隣接道路清掃活動	6月14日 9月10日・12月10日	昼休み時間を使って本社工場周辺道路のゴミ拾いを行う活動を、年に3回行っています。04年度は延べ382名の社員がボランティア参加しました。
新潟中越地震災害義援金の 募金活動	12月1～10日	2004年10月に発生した新潟中越地震の被災者支援のための義援金募金を行いました。985名の社員から暖かい善意が集まり、被災地に復興支援金として寄贈しました。

# 【日本での主な活動事例】



主な活動	開催年月	内容
デンソーエアーズ株式会社 工場周辺の美化活動	4~6月	地域社会の一員として、工場所在地の美化活動に積極的に協力しています。社内各工場周辺の清掃活動を、市の一斉清掃に合わせ実施しています。安城、高浜、豊橋、豊川の各工場で、計約150名が参加しました。
デンソー - 太陽株式会社 ハ・トフル530運動	5月30日	デンソー太陽は障害のある方たちが働く福祉工場です。障害のある社員も一般の社会人と同じです。会社の環境行動宣言にある「奉仕活動への参加」の一環として、地域の方と合同で周辺地域の清掃活動を実践しました。
デンソートリム株式会社 ゴミゼロ運動	6・8・11月	年に4回定期的に、会社周辺の清掃活動を従業員のボランティアで実施しています。96年からのデンソートリムの活動として根づいてきており、今年は438名が参加しました。
献血活動	5・11月	菰野町社会福祉協議会、日赤血液センターと連携をとり、春・秋の年に2回、定期的に会社に献血バスを呼んで実施しています。献血はデンソートリムの活動としてゴミゼロ運動と共に根づいており、約70名の社員が参加しました。
株式会社 デンソープレアス 小学生に対する 工場見学と防犯活動	9月22日	子どもたちが登下校時にトラブルに巻き込まれそうになった時に、地域の協力家庭などに駆け込み、助けを求められるようにして、子どもたちを犯罪から守る活動 = 「子ども110番」活動に賛同し、地元小学生の緊急時の受け入れを行っています。当日は、登下校時におけるトラブル(暴力・変質者)に対する緊急時受け入れ、救援対応について、地元の小学生及び教諭について説明するとともに、会社の工場見学をしてもらいました。
株式会社 デンソーアイテラボラトリー スマトラ沖地震募金活動	1月13~21日	社内に募金箱を用意し、義援金として日本赤十字社へ振込みを実施しました。また「テレビ朝日ドラエもん募金」を利用して、各人1人1回、指定された電話番号に電話をかけました。(自動的に109円/人の募金となる)なお、電話代は、全額会社が負担しました。合計約4万円の義援金が集まり、皆さんの善意を感じました。
株式会社 デンソーアイテック 新潟中越地震被災者支援カンパ	11月5日	新潟中越地震被災者に対する義援金のカンパを行いました。「少しでも役に立てれば」と社員有志約50名がカンパに協力、集まった義援金を被災地に贈りました。
株式会社 デンソー網走テストセンター イエローストップ	9月10日	交差点手前でイエローストップのきっかけを作るため、社員が交差点手前にて立哨を行い、黄色信号でのストップを促す活動を行いました。
クリーン活動	11月30日	会社周辺道路の路肩のゴミを拾う環境美化活動を社員7名が参加して行いました。
株式会社 デンソーウェーブ 刈谷事業所530運動	6月14日・9月13日 12月6日	会社周辺のポイ捨てゴミの清掃活動を年3回実施しています。3回計で刈谷事業所社員の約15%(49名)が参加しました。
株式会社 デンソー技研センター マナー向上清掃活動	6月18日・9月21日 12月21日	年3回朝または昼に30分間、通勤路の美化活動を行っています。毎回20名ほどの社員・研修生が参加して、道路のポイ捨て撲滅をアピールしながら、ゴミの清掃を行っています。
愛知技能プラザ2004 社会貢献活動	11月6~7日	社団法人愛知県技能士会連合会が主催するモノづくり体験イベントに、社員や研修生50名が参加。子供たちを対象とするモノづくり体験コーナーの中でスポンジニマルや、ジェルキャンドルづくりを担当しました。当日は、1100名の方が来場し、子供だけでなく、大人の方もモノづくりの楽しさを体験してもらいました。
株式会社デンソークリエイティブ 災害義援金寄付活動	12月2日	不幸にも自然災害に遭遇した新潟県及び、三重県、岐阜県の被災者の方々に、社員全員が毎月積み立てている社員クラブ会費1ヶ月分を寄付しました。これは、社員クラブの発案で、皆で力をあわせて少しでも被災地の復旧事業や被災者の年越し費用の一助になればという思いで行われた活動です。社員160名の善意は、中日新聞社会事業団を通じて被災地に寄付されました。
デンソーテクノ株式会社 交通安全立哨活動	6月~12月	地域住民、特に学童の交通安全と社員の交通安全意識高揚のため、毎月0の日の朝、会社周辺道路の交差点(3ヶ所)で、社員による立哨活動を行っています。車に対し安全運転を促す活動に、延べ105名の社員がボランティアで参加しました。
海外支援衣料回収活動	10月23日	(株)デンソーボランティア支援センターが実施している「海外支援衣料回収活動」に参画し、全社員に対し家庭で眠っている衣料の提供を呼びかけました。集まった衣料はアジアやアフリカの発展途上国に贈られました。
株式会社デンソーユニティサービス 123日間無事故・ 無違反運動と社会貢献	5月1日~8月31日	社内交通安全友の会活動の一環として、毎年123日間(4ヶ月)無事故・無違反運動を展開し、交通事故ゼロに努めています。この期間目標を達成できた社員は、無事故で過ごせたことに対する感謝の気持ちで運動にちなみ123円を寄付する権利が生まれ、集まった寄付金を社会のために役立てていく活動です。本年集まった7万2千円は、NPO法人アジア車いす交流センター(WAFCA)に寄付し、タイ障害者財団の車いす工場で作成した車いす6台を、2005年2月にタイの障害を持つ子ども達にプレゼントしました。
スマトラ島沖大地震・インド洋大津波 被災者支援	1月	スリランカで被災した子供たちの支援のため、地域のボランティア団体「知立あおみの会」の呼びかけに応じ、(株)デンソーボランティア支援センターと協働で、子供用夏服、タオルなどの物資収集活動を行いました。社員600名から支援物資が集まり、子供用夏服867着、タオル732本、ほ乳瓶11個の支援物資を被災地に贈りました。
株式会社デンソーリマニ 猿渡川の清掃活動	4月25日・11月14日	会社周辺を流れる猿渡川の清掃活動を、町内会およびデンソー安城製作所と一緒に、毎年2回、春と秋に実施しています。会社設立(2000.6)以来毎回必ず参加しており、本年11月14日(日)は社員とその家族合計10名がボランティア参加しました。(総勢:130名)

# 【北中南米での主な活動事例】



主な活動	開催年月	内容
DIAM Rouge River Rescue (ルージュ川清掃活動)	6月	デンソー・インターナショナル・アメリカ(略称:DIAM)は、2004年6月に、ミシガン州サウスフィールド市を流れるルージュ川の清掃活動を行いました。この活動は、植物や水生生物の保護のために川の流れを妨害している木や岩の破片などをきれいにする活動です。2004年は松下社長以下45名が参加。
DSCA Thanksgiving Meal Food Drive (感謝祭の食材提供活動)	11月23日	デンソー・セールス・カリフォルニア・アメリカ(略称:DSCA)は、地域の生活に困っている家庭に、感謝祭の食事を提供する活動を行っています。社員が七面鳥など料理に必要なものを買出しに行き、40の家庭に食材を提供しました。料理は地域の慈善団体により各家族に届けられました。
Rebuilding Together Home Repair Project (傷んだ家の修繕活動)	4月24日	DSCAは経済的に家を修理する事ができないお年寄りや障害者の為に、家を一日がかりで修繕する活動を行っています。この活動は、毎年4月の最後の土曜に行っており、2004年度は、修繕作業のための場所を提供したほか、社員12名がボランティアとして修繕活動に参加しました。
DMMI Fort Food Challenge/ Toys for Tots (食材・おもちゃ提供活動)	11月29日 ~12月15日	デンソー・マニュファクチャリング・ミシガン(略称:DMMI)は、ミシガン中南部のフードバンク(生活困窮者のために食品貯蔵し提供する団体)への食材の寄付や、恵まれない子供達におもちゃをプレゼントするキャンペーンを行なっています。食材は、8500ポンド(3.8トン)集まり、子供たちのためのおもちゃも例年の2倍集まりました。あるチームはみんなで協力してマウンテンバイクを購入し、子供たちにプレゼントしました。
Junior Achievement Race (チャリティ・ゴーカートレース大会)	8月14日	Junior Achievement レースは、募金のために毎年開催されているゴーカートレースです。このレースのスポンサーをするとともに、デンソーチーム2チームもレースに参加しています。レースには地域の方々も参加し、勝ったチームには賞品が贈られました。
Habitat for Humanity (家屋修復支援)	夏	NPO法人のHabitat for Humanityは、新しい住宅の建設や、修理をしています。デンソー社員も夏の間、修理の資金がない人たちのために、修理のお手伝いをしました。
AIMS Scholarship program (奨学金プログラム)	——	アメリカン・インダストリアル・マニュファクチャリング・サービス(略称:AIMS)は、成績や、その他の活動において特に優秀な地域の大学4年生3人に対して、それぞれに5,000ドルの奨学金を授与しています。
DMTN Little River Round-up (河川清掃活動)	4月24日	デンソー・マニュファクチャリング・テネシー(略称:DMTN)地域の環境保全に貢献することを目標に、地域の河川より廃タイヤ、ガラス、プラスチック等、17トン以上のゴミを回収しました。
Holiday Sprit Activities (クリスマスプレゼント寄贈活動)	12月	DMTNの社員は、1,100ポンド(495キログラム)の加工食品を地域の食品貯蔵室へ寄付しました。また、283名の子供たちにクリスマスプレゼントを購入したり、211台の自転車とヘルメットを恵まれない子供たちへ贈りました。
DMAT United Way Day of Caring (地域ボランティアの日への参画)	9月30日	デンソー・マニュファクチャリング・アセシズ(略称:DMAT) デイ オブ ケアリングは、地域で様々なボランティア活動を行うイベントで、造園、車の洗浄、コンピューターの修理等の活動を行っています。このイベントは過去数年で、着実に成長し、2004年9月30日に行なわれたデイ オブ ケアリングでは、150名を超えるボランティアの参加があり、当社からは23名のボランティアが参加しました。
DWAM Toys for Tots (おもちゃ提供活動)	12月	デンソー・ワイヤレス・システムズ・アメリカ(略称:DWAM)は、12月のホリデーシーズンに、ホームレスや孤児、貧しい子供達のためにプレゼントを集め、贈りました。社員75名が参画。
Annual Vista 4 TH of July Celebration. (独立記念日のイベント)	7月4日	DWAMは地域で最も大きなイベントである独立記念日祝賀会に協賛しています。地域の方とともにごちそうやゲームやエンターテインメントショー、花火などを楽しみました。多くの社員とその家族もイベントに参加し、当社に対する理解も広がりました。
DNMX Used shirts, pants and shoes donation (古着 シャツ・パンツ・くつ寄付)	月一回	デンソー・メキシコ(略称:DNMX)は、地域の支援団体を通して、毎月1回 恵まれない人々に古着のシャツ、ズボンや靴を寄贈しています。また、政府の社会福祉機関DIFは、当社が寄贈する衣料品を格安で販売し、その売上金で医薬品や車いす購入。恵まれない方々に寄贈しています。
Technical School Constuction Donation (テクニカルスクール建設への寄付)	——	DNMXは、地域のテクニカルスクール建設に対し、10万ペソを寄付し経済的サポートをしています
DNAZ Fair of the Kindness (障害者団体支援のための チャリティイベント)	9月24・26日	デンソー・インダストリアル・ダ・アマゾン・リミターダ(略称:DNAZ)は、APAE(Association of Fathers and Friends for Handicapped)と呼ばれる障害者のための団体へ寄付を行うため、チャリティイベントを開催しました。デンソーを含む日本企業のボランティアがこのイベントに参加し、日本の天ぷら、やきそばや飲み物を提供・販売しました。その結果集まった13,932.90リアルを寄付することができました。

## 【豪亜での主な活動事例】



主な活動	開催年月	内容
DIAU Formula SAE Australasia (学生のレーシングカー競技会支援)	12月2～5日	フォーミュラSAE大会に参加する学生はレーシングカー試作車を設計・製作し、毎年ビクトリア大学ドライビングセンターで開催される大会で他の大学の車と競います。デンソー・インターナショナル・オーストラリア(略称:DIAU)は、2004年フォーミュラSAEオーストラリア大会のスポンサーとなり、イリジウムパワースパークプラグ、ラジエーター、燃料ポンプ等の提供を通じて各チームのサポートをしました。また、品質と信頼性を重視する立場から、耐久性に優れたマシンを製作したチームに対して賞を贈っています。
AAA RACV Energy Breakthrough Program (ハイブリッドカー大会支援)	11月4日	オーストラリアン・オートモーティブ・エア(略称:AAA)は、高校生対象のハイブリッドカー大会の支援をしました。これは、車作り・レースを通じ、高校生に自動車の技術や環境対策について学んでもらうもので、大会スポンサー及び車作りの技術支援をしました。
Maroonda Festival (マルーンダフェスティバル)	2月	マルーンダ市のフェスティバルは、メルボルン東部の最も大きな無料イベントで地域の人々が共に祝い、ふれあいをもちつ機会でもあります。エンターテインメントライブが行われたり、生活、家庭、環境、健康、スポーツ、余暇などの分野のブース展示が催されます。
Silvan Foundation Positive Futures Program (シルバン財団 青少年育成活動)	—	シルバン財団の"Positive Futures Program =明るい未来プログラム"は、若年層の自己の可能性を広げるプログラムで、子供たちに、自尊心と自信をもってもらうための活動を行っており、地域のさまざまな学校から来る60人の学生に奨学金の提供もしています。当社はシルバン財団と協働で、若年層が自尊心、自信や活力を養えるように、3日間のキャンププログラム等を実施しました。
DITH For nurturing youth (青少年育成)	1月8日	デンソー・インターナショナル・タイランド(略称:DITH)は、デンソー タイランド(DNTH)と共同で、タイの子供の日(1月8日)に116,000 パーツ(2,975ドル)相当のプレゼントを恵まれない子供たちに贈りました。その他にも、1月8日、タイの25の学校に文房具を寄付し、1月10日に、コンピューターの修理をしたり、運動場の設備、本、運動道具等を2校に寄付しました。
Donation (スマトラ島沖大地震・インド洋津波) 被災者 義援金寄付	—	2005年の1月の津波で、タイのデンソーグループは、津波被害者を癒す団体を通して、2,420,000パーツ(\$62,050)寄付しました。社員による義援金募金も102,700パーツ集まり、あわせて寄付をしました。
WAFCAT (Wheelchairs and Friendship Center of Asia Thailand) の支援活動	—	(1) Wonderful Wheel プロジェクト(車いす普及プロジェクト) ・タイの障害を持つ子供達やアフガニスタンの人々へ、合計200台以上の車いすを寄贈しました。 (2) スポーツ事業 ・タイの選手らを対象にした車いすバスケットボールの指導者養成研修や、タイ車いすバスケットボール大会(6/21 22)を開催しました。 (3) 広報・啓発事業 ・Wonderful Wheel プロジェクトの支援をするため、5/4にチャリティーゴルフ大会を開催。180人が参加し集まった322,353パーツ(\$8265)を基金に拠出しました。 ・タイでの活動視察や車いす修繕活動を目的としたWAFCAタイフレンドシップツアーの開催をタイ現地で支援しました。
SDM/SKD Fellow to young kids on Children Day (こどもの日のイベント)	1月8日	1月の第2土曜日はタイのこどもの日です。サイアム・デンソー・マニュファクチャリング(略称:SDM) / サイアム・キョウサン・デンソー(略称:SKD)は、地域の小学生を対象にこどもの日のイベントを開催しました。子供と歌を歌ったりゲームをしたりして楽しみました。社員からの募金のおかげで、子供たちに昼食やキャンディ、おもちゃを寄付することもできました。
Fellow to The elderly. (高齢者施設への寄付)	8月7日	タイでは、政府が身寄りのない高齢者の方々に施設を提供しますが、ほとんどの人たちが家族に再会することができません。SDMは、SKDと協働で、施設に寄付をするだけでなく、高齢者の方々と一緒にゲームをしたり、家族の一員のように接することで貢献しています。
Blood donation to blood bank of Thai Red Cross Foundation (赤十字献血活動)	12月5日	国王の誕生日にあたる12月5日に、国王に感謝の意を表す意味で、献血活動を行いました。社員250名の社員が献血に協力してくれました。
DSKR visiting a nursery school (保育園訪問)	12月18日	デンソー・セールス・コリア(略称:DSKR)は地域の恵まれない子供たちの保育園を訪問しました。わずかな時間ですが、こどもたちの家族になった気持ちで多に遊び、交流を深めることができました。保育園内の掃除も行い、子供たちにも喜んでもらったのではと思います。
DNPS River cleanup activity (河川浄化活動)	8月18日	デンソー 豊星株式会社(略称:DNPS)は、きれいな水と自然を大切にしていくために、自然環境浄化活動の一環で、会社近隣の河川と河川敷駐車場を清掃しました。
DNHA Health Mela (無料健康診断)	11月	デンソー・ハリアナ(略称:DNHA)は、社会福祉を通して社会に貢献するために、無料で健康診断を行いました。会社が薬代を負担し、地域の住民たちのため休日に、ボランティアによって無料の収容所が設けられました。約600名の方々が、健康診断を受けられました。DNHAの社員とボランティアの医師の協力で、イベントを成功させることができ、DNHAは地域との良い関係を築くことができました。
Donation to school (奨学金プログラム)	—	DNHAは、貧しい生徒又は、優秀な生徒に奨学金を授与しています。奨学金は、人事部や総務部の調査・面接にて、基準に達する生徒のみもらうことができます。DNHAはまた、資金不足で扇風機が使用できない学校に扇風機を寄贈しています。
DNTW Collecting Used clothes (古着回収・寄贈活動)	4月1日	台湾電線股份有限公司(略称:DNTW)は、社員から古着と新古着を提供してもらい、回収した衣類を財団法人伊甸社会福祉基金会(台湾有数の福祉団体)に寄贈しました。2004年は衣類が3.5トントラック1台分集まりました。
Charity Bazaar & Wheelchair donation (チャリティーバザー&車椅子寄贈)	7月6日～8月10日	DNTWは、台湾にある身障者教養院へ、NPO法人アジア車いす交流センターを通して、タイの障害者が働く車いす工場より購入したアルミ製車いすを5台を寄贈しました。その他にも155人分の靴や缶詰を寄贈しました。また、教養院の方たちが手作りの品物のチャリティーバザーを社内で開催し、約3万円(9.3万円)の実績をあげました。
TDS Donation to Shisen river flooded district (甘肅貧困地区及び 四川水害地区へのカンパ活動)	9月18～27日	天津電装電機有限公司(略称:TDS)は、甘肅省の貧困地区及び四川水害地区の住民に冬用の衣服を支援する為、社内で使用しない衣服の提供と募金の呼びかけを行いました。呼びかけに対し、社員が積極的に協力してくれ、集まった衣服352枚と、資金138万を現地に送付しました。
DMVN Scholarship (ハノイ工科大学への 奨学金制度)	10月	2004年10月、デンソー・マニュファクチャリング・ベトナム(略称:DMVN)は初めて、ハノイ工科大学の学生10人に対して奨学金を贈りました。この制度は、この先5年間ハノイ工科大学と共同で行なっていくもので、優秀な生徒や困難に打ち勝って勉学に励んでいる生徒10名に対し、300ドルずつ奨学金を助成していきます。

## 【欧州での主な活動事例】



主な活動	開催年月	内容
<b>DSUK</b> Charity Abseil for the Watford Peace Hospice (ホスピスへのチャリティー活動)	6月20日	30mのショッピングセンター屋上からロープをつたって下るチャリティーイベントにデンソー・セールス・UK(略称:DSUK)社員のトニーさんが参加しました。このイベントで590ポンドが集まり、社員からの募金200ポンドを合わせ、790ポンドをワットフォード ピース ホスピスへ寄付しました。
Support to Hertfordshire Community Foundation and BEN (コミュニティ財団の援助)	——	DSUKは、イギリス・ハートフォードシャー州のコミュニティ財団とモーターチャリティー基金へ合わせて2,564ポンド寄付しました。また、州が効率のよい委員会を開催できるように、オフィスも提供しました。
Charity running competition (マラソン大会でのチャリティー)	10月29日	DSUKのHealth & Safety Day(ヘルス & セイフティ デー)に行なわれたマラソン大会でのチャリティーです。DSUKと社員が50%ずつ寄付し、合計293ポンドを乳がん認知キャンペーンへ寄付しました。
<b>DNMN</b> Wildlife Park open day (工場敷地の地域開放)	7月18日	デンソー・マーストン(略称:DNMN)は、地域の住民や子供たちに、工場敷地内の自然公園を開放し、野生の動植物について調査してもらっています。このイベントは地域の方と一緒に推進しており、公園が一般に公開されるCentenary Open Day(100周年記念オープンデー)に関連させて実施しています。
<b>DMML</b> Donation: Acorns Hospice & Barnardos (子供ホスピス・チャリティー団体への寄付)	——	デンソー・マニュファクチャリング・ミッドランズ(略称:DMML)は、 (1)ミッドランド西部から、難病の子供たちが多数集まるホスピスに1,000ポンド寄付しました。1988年以来、1,100人以上の子供たちのケアをしてきましたが、まだまだケアが必要な子供たちはたくさんいます。 (2)年間300以上のプログラムを運営するBarnardos(イギリス最大の子供向けチャリティー団体)に2,058.5ポンドを寄付しました。これらの寄付によって、世界中で過去90,000人以上家庭内暴力を受けている子供、貧困やホームレスの子供たち等が助けられてきました。
<b>DNDE</b> Support to several community institution (地域の教育団体等へ援助)	——	デンソー オートモーティブ ドイツ(略称:DNDE)は、音学学校、美術協会、消防隊、老人施設へ経済的支援をしました。2004年度は合計で4200ユーロ寄付し、各団体に大変感謝されました。
<b>DNTS</b> Social Education for kids (社会教育)	10月~11月	デンソー・サーマルシステム(略称:DNTS)は、地域の子供たちに仕事の世界や、会社の組織について理解を深めてもらう手助けをするため、工場において学校の社会教育の受入れを行っています。会社がどこか理解してもらうため工場見学を行い、会社の仕事や工場の機械や道具についての説明をしたり、社内の様子を見てもらいました。

## デンソー 社会貢献活動の歩み

1984	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 障害者の福祉工場「デンソー太陽株式会社」設立</li> <li>・ 「オペレーション・ローリー」への協賛開始(～1988年)</li> <li>・ 世界の若者が帆船で海外を一周し、科学・奉仕・冒険をする国際イベントに協賛</li> </ul>
1990	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 経団連「1%クラブ」への入会</li> <li>・ 「社会貢献活動委員会」発足</li> <li>・ 社会貢献活動の方針・活動評価・報告の仕組みづくりを開始</li> </ul>
1991	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会社スポーツクラブによる地域の「少年サッカー教室」を開催</li> <li>・ 「デンソーサンデースクール」(デンソー短大の講座を中高校生に開放)開始</li> <li>・ 会社施設の地域開放(体育館、グラウンド、テニスコートなど)開始</li> </ul>
1992	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大分国際車いすマラソン大会への協賛・支援開始</li> </ul>
1993	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「青少年交換ホームステイ」開始</li> <li>・ 社会貢献パンフレット「CORPORATE CITIZENSHIP」発行</li> </ul>
1994	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「デンソー基本理念」のなかで、「自然を大切にし、社会と共生する」が方針として掲げられる</li> <li>・ 総務部内に「ボランティア支援センター」を設立</li> <li>・ 社員の自主的な社会参加活動の支援を開始</li> <li>・ 「青年海外協力隊参加支援制度」導入</li> </ul>
1996	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「骨髄提供者に対する休暇制度」導入</li> </ul>
1997	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「デンソービジョン2005」で、「社会の共感を呼ぶ企業づくり」が重点課題として掲げられる</li> <li>・ 「社会貢献の基本方針」策定</li> <li>・ 社会貢献活動の理念、基本目標、重点3分野(障害者福祉、青少年育成、環境保全)を設定</li> <li>・ 青少年少女発明クラブに対する講座開催支援開始</li> <li>・ 「ファミリーオープンハウスデー」開始</li> </ul>
1998	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「デンソーハートフルクラブ」設立</li> <li>・ 社員有志によるボランティアグループを組織化</li> <li>・ 「マッチングギフト・ファンド」導入</li> </ul>
1999	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ NPO法人「アジア車いす交流センター」設立</li> </ul>
2000	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社会貢献活動に関する評価システムを導入</li> </ul>
2001	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域の小学生を対象とした体験型の環境教育プログラム「ECOLンジャー21」開始</li> <li>・ 青少年創造性啓発プログラム「デンソーモノづくりフェスタ」開始</li> <li>・ 社会貢献パンフレット「ともに歩む社会へ。」発行</li> </ul>
2002	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「企業の社会的責任(CSR)」に取り組むため、ワーキンググループを発足</li> <li>・ OB会員によるボランティアグループ「ハートフルクラブ 弥栄寿会」が発足</li> <li>・ NPO法人パートナー・サポートセンター主催の「パートナーシップ大賞」において、「デンソーとNPO法人お菓子工房バドラの会のお菓子販売協働事業」がパートナーシップ賞を受賞</li> </ul>
2003	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「NPOサポートネットワークプログラム」開始</li> <li>・ ボランティアネットワークシステム「スマイルゆうネット」</li> <li>・ 「リユースPC寄贈プログラム」</li> <li>・ 「ボランティア人材バンク制度」</li> <li>・ 朝日新聞文化財団主催の「企業の社会貢献度調査」において、「障害者雇用賞」を受賞</li> <li>・ 労働者マルチライフ支援事業推進会議他主催の「ワンモアライフ勤労者ボランティア賞」において、デンソーボランティア支援センターが「ナイスアシスト賞」を受賞</li> </ul>
2004	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「ボランティア表彰制度」導入</li> <li>・ 「デンソーグループハートフルデー」開始</li> </ul>